

進路だより

題字

志垣嘉納子
第二高校進路指導部編集
令和2年度
第1号(通巻120号)

創造的休暇

校長 山本朝昭

パンデミック

令和二年四月。いま、新型コロナウイルスの災禍が地球を覆っています。第二次世界大戦以来ともいえるべき社会・経済・医療全体に及ぼす影響は危機的状況です。二〇一九年十一月に中国湖北省武漢から始まった感染症は世界中に蔓延し、三月十一日にWHOがパンデミックを宣言しました。日本も都市部だけでなく全国各地で感染者が急増。七都府県に緊急事態宣言が発令されました(四月六日現在)。ドイツのメルケル首相やイギリスのジョンソン首相をはじめ感染対策に指揮を振るうはずの

国のトップ指導者が感染したり、お茶の間で笑いを振りまいていた人気が、コメディアンの志村けんさんが急逝するなど、この恐ろしい病気の脅威から、誰も無縁ではないことが実感できます。

学校は、安倍首相による全国的な一斉休校の要請を受け、三月二日から休校が続いています。感染拡大を防止する措置を取ったうえで、卒業式、終業式、入学式、始業式だけは実施することができましたが、部活動をはじめ一切の活動が禁止または制限され、学校生活は一変しました。本校でも、五月に予定していた運動

会はやむなく中止を選択せざるを得ず、今後も授業時数の確保や部活動の大会実施等にも大きな影響が推測されます。外出自粛など生活環境が激変し、感染終息の見込みが立たない中で、世界の歴史的な出来事として残るであろうこの時期を、皆さんと力を合わせて乗り切っていかなければなりません。

ペストとニュートン

明るい話題を出しましょう。一七世紀イギリス。一六六五年、アイザック・ニュートンは「万有引力の法則」を発見し、「微分積分の考え方」、「光学理論」を開発しました。当時、ロンドンではペストが猛威を振るっており、ニュートンが在学していたケンブリッジ大学も休校に追い込まれました。彼はペストを逃れるため、故郷に戻ることで、思索に充てる時間が生まれました。そして、この十八か月間の休暇中に、万有引力の着想を始めとする「ニュートンの三大業績」が生まれたのです。ニュートンはペストによってもたらされたこの期間を「創造的休暇」と呼んでいます。ニュートンにとって創造的休暇となったごとく、今の私たちも、前を向き、禍を転じて福となす智慧

と工夫が求められています。生徒の皆さんにとって、この期間が失われた時間としてではなく、振り返った時に、あの時間があったこんな価値あることができたと思えるような高校生活(創造的休暇)になるよう、力を合わせて進みましょう。

社会変化への対応力をSSHで

さて、現代はかつてない大きな社会の変革期の中にいて、なおかつ、新型コロナウイルスが与える影響のごとく急変の時代でもあります。Society 5.0に向かう情報ネットワークの技術革新社会であり、価値観も常識も異なる人々と協働する多様性の時代です。本校がSSHの取組の中でSS、GR、ASの探究活動を展開しているのは、時代の要請に答え、変化する社会に貢献できる資質と能力を磨くためです。「自分で問いを考え、答えのない課題にアプローチする力」、「他者と協働して仕事を進めるコミュニケーション力」など、あらゆる場面に転移可能な一般的能力を研磨できると信じています。困難に直面するたび、再び訪れる学びの空間。SSHで取り組む活動は、皆さんの社会変化への対応力を促しています。

令和2年4月1日現在

種別	学 校 名	合計	新卒		旧卒	
			男	女	男	女
九州内	九州共立大学	1	1			
	九州国際大学	2	1	1		
	九州産業大学	13	2	9	2	
	九州女子大学	1		1		
	久留米大学	10		10		
	久留米工業大学	3	3			
	産業医科大学	1			1	
	西南学院大学	28	8	13	4	3
	西南女学院大学	1		1		
	第一薬科大学	1		1		
私立	筑紫女学園大学	2		2		
	中村学園大学	4		3	1	
	福岡大学	46	20	17	8	1
	福岡工業大学	11	10	1		
	福岡女学院大学	1		1		
	九州栄養福祉大学	1		1		
	日赤九州看護大学	1		1		
	純真学園大学	2		2		
	活水女子大学	1		1		
	長崎国際大学	4		2		2
大立	熊本学園大学	84	26	51	3	4
	崇城大学	80	40	30	9	1
	尚絅大学	5		5		
	九州ルーテル学院大学	9	1	7		1
	九州看護福祉大学	8		8		
	熊本保健科学大学	35	4	28		3
	日本文理大学	1		1		
	別府大学	1	1			
	立命館アジア太平洋大学	2	1	1		
	宮崎国際大学	1	1			
九州外	九州保健福祉大学	4	2	2		
	志学館大学	1	1			
	九州内私立大学計	365	122	200	28	15
	酪農学園大学	1	1			
	国際医療福祉大学	1			1	
	千葉工科大学	1			1	
	秀明大学	1	1			
	青山学院大学	1			1	
	工学院大学	1			1	
	國學院大學	1	1			
私立	駒沢大学	1	1			
	芝浦工業大学	1			1	
	昭和女子大学	1				1
	創価大学	3		3		
	大東文化大学	1		1		
	多摩美術大学	3		3		
	中央大学	1	1			
	帝京大学	5	1	3		1
	東海大学	5	2	2	1	
	東京薬科大学	1		1		
大立	東洋大学	1		1		
	日本大学	1				1
	ルーテル学院大学	1	1			

種別	学 校 名	合計	新卒		旧卒		
			男	女	男	女	
九州外	法政大学	1			1		
	京都市大学	2			2		
	武蔵野美術大学	1				1	
	和光大学	1		1			
	早稲田大学	1	1				
	東京医療保健大学	1		1			
	神奈川大学	1	1				
	愛知学院大学	1		1			
	愛知工業大学	2			2		
	成安造形大学	2		2			
私立	京都産業大学	1		1			
	同志社大学	2	2				
	立命館大学	10	5	1	4		
	京都美術工芸大学	1		1			
	大阪工業大学	1			1		
	関西大学	1	1				
	近畿大学	5	1	2	2		
	関西学院大学	4	1	3			
	奈良大学	2	2				
	岡山理科大学	3	2	1			
大立	広島修道大学	1	1				
	安田女子大学	2		2			
	九州外私立大学計	78	26	30	17	5	
	私立大学計	443	148	230	45	20	
	北京外国語大学	1		1			
	海外の大学計	1	0	1	0	0	
	短期大学	熊本県立技術短期大学校	2	2			
		倉敷市立短期大学	1		1		
		大分県立芸術文化短期大学	1		1		
		創価女子短期大学	1		1		
佐賀女子短期大学		2		2			
尚絅大学短期大学部		4		4			
短期大学計	11	2	9	0	0		
看護	熊本医療センター付属看護学校	3		3			
	日本医科大学看護専門学校	1		1			
	熊本看護専門学校	2		2			
	熊本市医師会看護専門学校	1		1			
	熊本駅前看護リハビリテーション学院	1		1			
看護学校計	8	0	8	0	0		
各種専門学校	日本ホテルスクール	1		1			
	福岡リゾート&スポーツ専門学校	1		1			
	熊本市立総合ビジネス専門学校	3	1	2			
	熊本Y M C A学院	3		3			
	熊本歯科衛生士専門学校	1		1			
九州中央リハビリテーション学院	1	1					
各種専門学校計	10	2	8	0	0		
上級学校合格者総数	710	273	344	68	25		

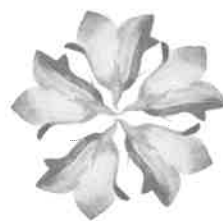
2 就職試験合格者数一覧(新卒)

	計	男	女
株式会社IMC	1	1	
自衛隊一般候補生	1	1	
計	2	2	0

令和2年度入試 上級学校合格者数一覧

種別	学 校 名	合計	新卒		旧卒	
			男	女	男	女
国立	熊本大学 GLC (法)	1		1		
	(理)	1		1		
	(工)	1	1			
	熊本大学推薦 (文)	1		1		
	(教)	1		1		
	(工)	8	3	5		
	(薬)	1		1		
	熊本大学前期 (文)	4	3	1		
	(法)	4	3	1		
	(教)	8	3	4		1
	(理)	4	3		1	
	(工)	5	4		1	
	(医)	1		1		
	(薬)	1			1	
	熊本大学後期 (文)	1		1		
	(法)	1	1			
	(理)	1	1			
	(熊本大学計)	44	22	18	3	1
	筑波大学	3	1	2		
	東京海洋大学	1	1			
電気通信大学	1	1				
東京大学	1			1		
東京学芸大学	3		3			
東京芸術大学	3		1	1	1	
滋賀大学	1	1				
和歌山大学	1	1				
島根大学	1	1				
広島大学	6	1	3	1	1	
山口大学	2	1	1			
香川大学	1	1				
愛媛大学	1			1		
九州大学	5	4	1			
九州工業大学	7	5	1	1		
福岡教育大学	4	1	3			
佐賀大学	13	9	4			
長崎大学	12	6	6			
大分大学	3			3		
宮崎大学	6	6				
鹿児島大学	25	16	5	4		
琉球大学	3	3				
国立大学計	147	81	48	15	3	

種別	学 校 名	合計	新卒		旧卒	
			男	女	男	女
公立	熊本県立大学 (文)	7	2	5		
	(総合管理)	39	20	18		1
	(環境共生)	8	4	3	1	
	(熊本県立大学計)	54	26	26	1	1
	秋田公立美術大学	1		1		
	前橋工科大学	2	2			
	東京都立大学	1				1
	長岡造形大学	3	2	1		
	静岡文化芸術大学	2	1	1		
	愛知県立芸術大学	3	1	2		
	兵庫県立大学	1				1
	岡山県立大学	1				1
	尾道市立大学	1		1		
	広島市立大学	2		1		1
	山口東京理科大学	2		1	1	
	下関市立大学	1		1		
	山口県立大学	1	1			
	北九州市立大学	1	1			
	福岡女子大学	1		1		
	長崎県立大学	1	1			
宮崎公立大学	2		1	1		
名桜大学	1	1				
沖縄県立芸術大学	4	1	3			
公立大学計	85	37	40	6	2	
国立公立大学計	232	118	88	21	5	
省	水産大学校	2	2			
	防衛大学校	3	1		2	
各省管轄学校計	5	3	0	2	0	



令和二年度入試を振り返って

進路指導主事 山崎 一

安全志向・現役試行の強まり

入試制度改革に伴い、現行の入試制度での最後の入試である令和二年度入試を振り返ってみると、今まで以上の安全志向、現役試行の傾向が表れた入試だったと感じます。センター試験で思うように得点を取れなかった多くの生徒も今まで以上に後期試験の最後まで頑張ってくれました。一方、今春は全国的に私立大学への流れが顕著で、本校の私立大学現役合格者数も昨年度より約三十名多くなっています。これは、私立大学の定数管理の厳格化に伴い、私大の前期試験で思うように合格が貰えず、私大の後期試験まで受験し最後の最後に追加合格を頂いたことも一つの要因であり、先輩たちの頑張りの成果と言えるでしょう。

また、安全志向・地元志向が高まり、熊本県立大学の前期合格率は昨年同様に四十七%ではあったものの、出願者数は昨年度よりも十三名、一昨年に比べると三十名増加し七十名が出願する形となりました。第二高校からの出願者数が増えれば、第二高校で合格を争う結果となります。

最後まで粘った二高生

しかし、これらの厳しい状況を第二高校の特徴である「後期まで粘る」の精神で合格を勝ち取った生徒もいます。抑えに受けた私立大学が不調に終わったため、精神的にも大きなショックを受けた生徒が、目標としていた熊本大学をめざし努力を重ね、前期、後期と受験し合格しました。この生

徒は、前期の熊大にも不合格となったわけですが、後期試験に向けて先生に個別指導をしてもらう毎日が続きました。その結果、厳しい判定から見事後期試験で熊本大学に合格しました。

このように、最後まで粘った結果、後期試験で合格をもらった先輩方は三十三名になります。最終的に国公立大学の現役合格者数が二百六名という結果に終わりましたが、最後まで受験した経験は、一生の財産になったと思います。

急激に難化する推薦・AO入試

入試制度改革の中でも大きな制度変更がある国公立大学の推薦入試は、本年度から大きな影響を受け、大変厳しい状況でした。毎年本校では、約一〇〇人の生徒が推薦・AO入試で受験しており、合格率は約六割を推移していました。しかし本年度は、五割を切る形になりました。来年度から推薦入試での定員増加を見越して選考基準が大きく変わったように感じます。

熊本大学のGLC(グローバルリーダーコース)を例にとると、毎年一〇名程度の生徒が受験をしています。今年度は文系学部(一名、理系学部)に七名が受験し、文系で一名、理系で二名の合格となりました。昨年度は、文系が二名受験し一名が合格、理系は八名受験し六名合格しました。一昨年度は、文系が五名受験し四名合格、理系は八名受験し六名合格という状況でした。この状況からみて分かるように、過去二年間は文系で約五〜八割、理系で七割以上

の合格率になっているのに対し、本年度は文理共に三割程度となっています。特に理系での合格が厳しい状況にあります。これは、本校だけにとどまらず、多くの高校で起きているのが現状です。推薦・AO入試を受験する生徒の多くが、様々な活動に取り組んでおり、むしろ以前よりも多岐にわたる取組を行っている為、提出書類の中にある活動報告書の内容は以前よりも充実したものになっています。特に、熊本大学のGLCを受験する生徒のほとんどが、意欲的に様々な活動に取り組んでいます。また、彼らは与えられた課題に対してどのような対策を行うか協議するグループワークを苦手とする集団でもありません。

理系は、グループワークの試験だけでなく、数学や理科の口頭試問があり、教科の専門的な知識を使って質問に対してきちんと説明できる力を持ち合わせていないと、合格は厳しくなります。自分が興味のある内容の研究を進めて行く上で、必要最低限の知識を身につけておかないと、ただ単に興味・関心が他の人よりもあるだけでは合格は出来ないようになっており、推薦・AO入試であっても学力が大きく問われるようになってきています。このことは、推薦・AO入試に関する説明の中で、大学側からも学力を重視すると説明がなされていることを明確に示しています。

AO入試で合格した先輩からのアドバイスを参考に、三年間の高校生活をどのように過ごすかをよく考えて、自由に使える時間を有効に活用して価値あるものに変えてください。

佐賀大学農学部(合格した卒業生の合格体験談より)

私が皆さんに伝えたいことは三つあります。

一つ目は、「早めに自分の志望校を明確にしておく」ことです。私は、高校一年生の夏休みに、農学部に行きたいと決めて、進路研究を重ねて高校二年生の時には佐賀大に進学すると決めました。そのおかげで、今自分が何をしておくべきかがわかり、進学の際に自分の強みとなる可能性のある行事や課題研究に全力で取り組むことができました。第二高校では進路研究の時間がたくさんあるので、たくさん大学の調べて、途中で志望校が変わってもいいから、今の段階での志望校を明確にしておくとういと思っています。

二つ目は、「授業の予習復習は必ず行う」ということです。私は塾に通っておらず、最初は、勉強面で周囲に遅れを取ってしまっているのではないかと、という不安がありました。しかし、入試で出題される範囲はすべて授業で習い、疑問点は先生方に質問することで解決でき、模試も学校で受けるので、今では、授業をきちんと受けるのみで十分だったと思っています。また、自分は一日最低七時間寝ないと学校で眠くなってしまおうと気づいていたので、授業を無駄にしないためにも、夜はしっかり睡眠をとるようにしていました。

三つ目は、「模試は入試本番のように受験する」ということです。第二高校ではたくさんの模試を受ける機会があります。しかし私は模試の重要性に気付くのが遅く、あまり真剣に受けていませんでした。そのため、試験に對してあまり緊張感を持てず、悪い方向に模試慣れしてしまいました。センター試験当日もあまり緊張感を持てず、自分の最大限の実力を発揮できなかったのではないかと後悔しています。毎回の模試で結果だけに注目し一喜一憂するのはなく、模試の受け方にも注意して全力を出す癖をつけておくとよいと思います。

早朝学習のさらなる進化に向けて

～主体的に学ぶ早朝学習～

第二高校では皆さんの進路目標の実現に向けて、3年間を通じて計画的かつ段階的に進路指導の取組を行っています。(詳細は最後のページの「令和2年度進路指導部年間計画表」をご覧ください。)

本校の、「伝統」とも言える取組の1つに「早朝学習」の取組があります。この取組は平成の初めころから現在まで、30年近くにわたって続けられ、本校の「伝統」となっている特色ある取組です。本校三綱領の一つ『自主積極』の精神のもと、自学自習の習慣の確立と基礎学力の充実・定着を図り、進路希望の実現を目指し、学ぶ主体としての生徒の自覚を促すとともに、生徒一人一人が学習に取り組み、自己の進路希望の実現につなげていくことを目標に行ってきました。

今年度は、その取組をさらに進化させるべく以下の3つの取組に分けて行います。

(1) テーマ学習

各教科が1～2週間を単位として具体的なテーマを定め、担当者が教科指導を行うことで学習内容の定着と深化を図る

(2) 主体的な学びの時間

これまでの「早朝学習」の時間に学年や教科の計画を入れずに開けておき、生徒一人一人がそれぞれの必要に応じて主体的に学習に取り組みめるように設定したもの

(3) 早朝自学

定期考査及び課題考査(3学期実力考査含む)等、考査が実施される日については全員が参加の自学の時間を設定し、学年全体が落ち着いた環境で考査を受験できるよう設定したもの

「テーマ学習」では、担当者が教科指導を行います。講義形式ではありません。設定されたテーマをより深める学習方法について、与えられた教材を基点に、教科書・辞書・参考書・問題集へのアプローチできるようにその方法を伝えます。その学習を通して、「主体的な学びの時間」での自学の姿勢を身に付け、自ら課題を見つけ、それぞれ必要に応じて主体的に学ぶ姿勢を身に付けてください。

大学入試に限らず、現代社会が求めているのは、自ら主体的に学び、社会が直面するさまざまな課題に関心を持つとともに、解決のために自ら判断し行動できる人材です。そのような姿勢を備えた人材は、受け身の学びから育つものではありません。

第二高校は県内でも有数の進学校として、毎年素晴らしい実績を残していますが、そこに至るまでには、歴代の先輩方の頑張りや保護者の方のご理解とご協力、そしてこれまで第二高校に関わってきた多くの方々の熱い思いとたゆまぬ努力があったのです。その熱き思いを受け継ぎ、今回の大きな変化を自分たちの物にし、「自ら学ぶ姿勢」を育て、「学習習慣の確立」と「学習内容の定着」につなげ、更なる進化をしましょう。

1年生の皆さんは、「早朝学習」の趣旨をよく理解した上で積極的に参加してください。「早朝学習」を通して高校生としての学びの基礎を身に付けてください。「主体的に学ぶ姿勢」は、3年間の学習の基礎となります。

2年生の皆さんは、「進路目標を意識した学習」への切り換えが求められる時期です。目標が明確であれば、日々の生活も充実したものとなります。充実した日々にするためには、「主体的な学びの時間」をどのように活用できるかで大きく変わります。自由な時間を有効に使い価値のあるものに変えられるかは、君たち一人ひとりにかかっています。

3年生の皆さん、いよいよ早朝学習の成果が問われるときがやってきました。過ぎ去った時間を取り戻すことは出来ません。今まで過ごした時間の使い方を見直し、受験の本番に向けて頑張りましょう。6月からは朝夕の課外に切り替わりますが、これまで以上に自ら学ぶ姿勢を大切にして、目標の実現に向けて力強く進んでください。

就職・公務員 ガイドランス

進路指導部 林田登之

一 企業への就職について

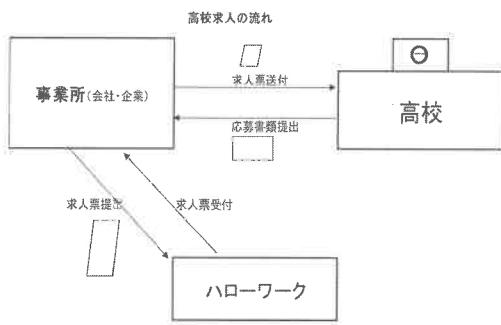
高校生は学業を最優先させた上、適正かつ公正な就職の機会を与えるために、行政と学校関係者と企業の間で就職活動のルールを協議し、入社試験の実施となっている。なお、一定期間は複数の会社の入社試験を受験できない「一人一社制」という制度にもなっている。

就職活動は公共職業安定所（ハローワーク）で受け付けられた求人票で行う。日程としては、七月一日から求人票が届き、九月五日から応募が始まり、九月十六日から入社試験開始と定められている。

- ① 求人票の開示（七月一日）
求人票を見て、会社を選定していく。
- ② 会社見学実施期間
（七月中旬～八月上旬）
会社の情報を収集し、会社の見学を通して応募先を決める。見学は学校経由で会社に申し込む。
- ③ 応募開始（九月五日～）
応募書類を作成し、学校を通して会社へ提出する。

- ④ 入社試験開始（九月十六日～）
面接試験、筆記試験、適性検査などが行われる。
- ⑤ 内定・結果通知
試験後七日以内に学校へ通知される。
- ⑥ 追加募集（九月下旬～）
募集終了していない会社へ応募し、受験する。試験後七日以内に結果が学校へ通知される。

就職を希望する生徒は、早期の準備と自分の適性を把握することが重要である。担任の先生や進路部の先生と十分に相談していくことが望まれる。



二 公務員の採用について

国の機関に勤めるのが国家公務員で、地方公共団体に勤めるのが地方

公務員である。国家公務員は一般職試験と税務や刑務官などの専門職試験がある。地方公務員は、県や市町村の職員のことである。

高校生対象の公務員採用試験は、ほとんどが九月から十月にかけて実施される。熊本県と熊本市は同じ試験日であるが、その他の市町村では統一試験日が二回設定されており、複数の受験が可能なところもある。

国家一般職

事務、技術、農業、農業土木、林業

国家特別職

裁判所事務官、国会図書館一般職、衆議院・参議院事務局（一般事務）、衆議院・参議院衛視

国家専門職

皇宮護衛官、刑務官、入国警備官、税務職員、航空保安大学校、海上保安大学校、気象大学校

地方公務員

一般事務、学校事務、警察事務、技術系職、警察官、消防官

志望先、併願先の選定に際して留意したいのは、試験日程のほか、試験内容、試験倍率等である。志望先により試

2020年度 おもな公務員採用試験一覧

一次試験日	試験名	受付開始日
9月6日(日)	国家一般	6月22日(月)
	税務職	
9月13日(日)	裁判所一般	7月7日(火)
	東京都	6月1日(月)
	警視庁事務	6月15日(月)
	東京特別区	6月25日(木)
9月20日(日)	市町村/消防①	8月中旬
	警視庁警察官	6月7日(日)
9月27日(日)	刑務官	7月21日(火)
	都道府県・政令市	8月下旬
	入国警備官	7月21日(火)
	海上保安官	
10月18日(日)	皇宮護衛官	9月上旬
	市町村/消防②	
	警察官(熊本等)	8月下旬

験時間や出題数に幅があるものの、択一式の基礎能力試験、適性試験、作文試験、面接試験が実施される。また、航空保安大学校や海上保安大学校などは大学入試に近いので、対策としては大学進学と同様に考えてよい。
基礎能力試験は高校で学ぶ全ての教科・科目から出題される。そのため、毎日の授業を大切にすることが重要である。適性試験はスピードも要求される。
公務員への志望を固めたら、最新の採用試験情報をインターネットなどで確認する。受験案内(願書)は、試験の各実施機関に直接出向いて手に入れるか、郵便で請求する(ネットから可能な場合もある)。年度により採用予定数が大幅に変わったりすることがあるので、注意したい。

大学入試の基礎知識

進路指導部 西本達哉

国公立大学一般入試

国公立大学の一般入試は、まず大学入学共通テスト（一次試験）を受験し、自己採点をもとに志望する大学へ願書を出す。その後、大学別の実施される個別学力検査（二次試験）を受験する。合否は、大学入学共通テストと個別学力検査の得点を合計して判定される。

各大学・学部・学科によって試験科目や配点（傾斜配点）が異なるので、各大学から配布される「入学者選抜要項」をしっかりと確認することが重要である。

大学入学共通テスト（二次試験）

大学入学共通テストは国公立大学志望者が原則として全員受験する試験で、多くの私立大学でも大学入学共通テストを利用して受験することができ、全国で五十万人を超える受験生が出願する。二〇二一年度入試（令和三年度入試）は、令和三年一月十六日（出）と十七日（回）の二日間実施される。試験はすべてマーク方式で、教科書の範囲内の標準的な内容が中心の基礎的な学力を問うものである。ただし、問題数が多いため、問題を解くスピードが要求され、読解力・情報処理能力が必要である。

大学入学共通テストの留意点

理科の科目選択には注意を要する。

理科①は基礎科目二科目で六〇分、理科②は専門科目一科目で六〇分である。各大学が定める出題科目の選択方法は次の四パターンであり、本校では文系がAパターン、理系がDパターンで受験する者が多い。

A	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目
B	物理、化学、生物、地学から1科目
C	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目+物理、化学、生物、地学から1科目
D	物理、化学、生物、地学から2科目

ポイントは、文系の生徒も理科を二科目必ず受験する必要があることである。一・二次に学習した基礎科目を大学入学共通テストで受験することになる。

理科と地歴・公民は、指定された科目を受験してないと希望する大学・学部・学科を受験できない。「入学者選抜要項」で確実に確認しておくこと。

個別学力検査（二次試験）

受験生は、大学入学共通テストを受験した後、自己採点を行い、その結果に基づいて、出願先を決定する。出願の時期は前期も中期も後期も同時である。二次試験は、記述式で発展的な内容を問うものが多い。芸術・体育系の学部学科では、実技試験が課せられる。試験科目・配点は大学によって異なり、一般的に難関大学ほど二次試験の科目が多く、配点も大きい。また、二次試

験は、多くの大学で前期日程と後期日程の二回に分けて実施（一部の公立大学では中期日程を実施）されるが、後期試験を廃止した大学もある。前期日程で合格して入学手続きをしないと、中期、後期で合格することができないため、受験生は必然的に前期日程で第一志望の大学を選択する。しかし、前期日程で不合格であっても最後まで諦めず粘り、見事後期日程で栄冠をつかんだ先輩も多い。

総合選抜・学校推薦

①従来の推薦・AO入試が名称変更になったもので「出願資格・条件」が定められている。本校の推薦基準もあるので、早めの確認を要する。

②推薦入試は、合格したら必ず入学する。学部・学科の研究内容はもちろん、授業料や通学手段、下宿等に関する費用なども十分に検討しておく。

③一般入試に比べて早い時期に実施され、出願書類の準備に時間がかかるので、綿密な計画を立てる必要がある。

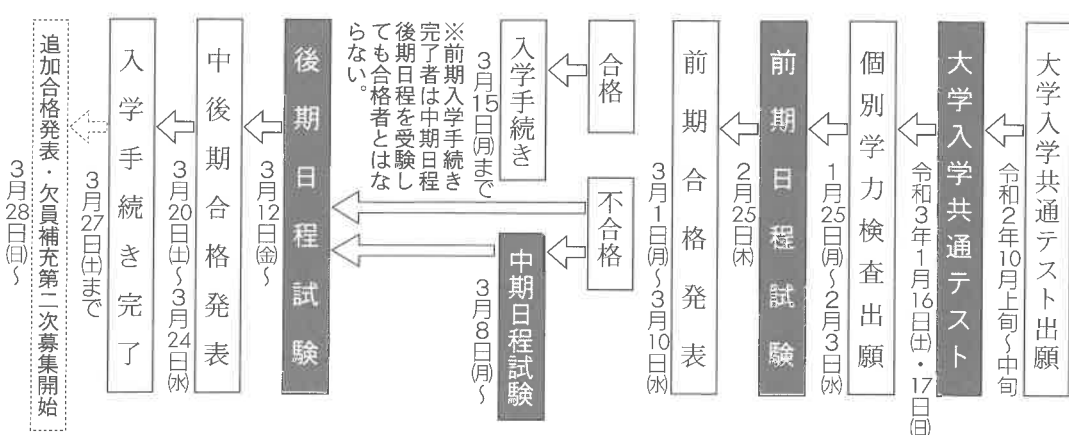
④令和三年度以降、学力を問わない入試はできなくなる。不合格の可能性も考え、一般入試の対策も並行して行なう必要がある。

英語外部検定試験

昨年、英語外部検定試験の導入は延期になった。ただし、これまでも多くの大学（国公立、私立とも）で外部検定試験の結果を用いた入試が行われており、加点方式（外部検定試験の結果により、入試得点に一定の点数を加える）や見込み点方式（外部検定試験の

結果に応じて、はじめから一定の入試得点を与える）での利用は今後も増えると考えられる。

令和三年度国公立大学一般入試日程



燃焼する自我・変容する連関

一学年主任 高濱俊彦

昨年まで六年続けて三年生を担当してきた。本校の三年生の頑張りは素晴らしい。特に高校総体・総文祭が終わってからの切り換え、セクター試験一〇〇日前くらいからの追い込み、セクター試験後の各大学の個別試験に向けての加速には、目を見張るものがある。

今春卒業した五十六期生にはまじめで粘り強い生徒が多く、個別試験に向けての特別時間割では、教科によって教室に入り切れないほどの生徒が集まり、前期試験はもろんのこと、三月十二日の後期試験直前まで熱心に勉強に打ち込む姿が見られた。

厳しい状況を乗り越えて、合格を勝ち取った人の喜びは何ものにも代えがたい。合格の報告にきてくれる人の表情には、充実感と誇らしさが溢れている。

しかし、当然のことながら全員が志望校に合格できるわけではない。それは能力が足りなかったからではなく、「ほんのちよっとの差」が、三年にわたって積み重なったものだと感じる。その「ほんのちよっとの差」が何なのか、最近ようやく分かったような気がする。

学年のスローガンは「燃焼する自我・変容する連関」とした。「燃焼する自我」とは、自己のやりたいこと・やるべきことを明確にするとともに、それらを三年という時間軸の中に位置付けて、持てるエネルギーを注ぐということである。「変容する連関」の「連関」とは、「互いに切り離すことができない密接な関係」という意味で、苦業を共にする中で関係を深め、互いの信頼を獲得して高め合う集団をつくるということである。

単に受験に限ったことではないが、伸びる人とそうでない人の違いは、自分を単なる点(今という瞬間・自分という個人)でとらえているか、時間の流れという線や自分を支えてくれる多くの人の存在という面あるいは空間でとらえているかの違いであるように思う。

二高生の「燃焼する三年間」は短い。短いからこそ、伸びる人は三年間の時間の流れを意識しつつ、今という時を自分がどう過ごしたいのか、どう過ごすべきかを考える。また、自分自身が成長することで、周囲との関係を深めることができ、周囲から信頼されえられていることに気付く。その「ほんのちよっとの差」は何によるのか……。

それは視野の広さの差であり、視野の広さの差を生むのは経験の差であるように思う。社会の動きを見て不安を抱き、たくさんの本を読んで考え込み、苦手科目の問題に四苦八苦する。自己の成長を遂げながら個に止まらず、友達とともに真剣に何かに打ち込んだり、時には対面でぶつかり合ったりする。

そんな「燃焼する経験」に彩られた三年間を過ごしてくれることを期待する。

高い『知能』を得るために多くの『経験』をしよう!

一学年主任 田嶋隆文

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、第二高校二年目がスタートしました。久しぶりに登校した教室の中で新しい仲間と出会い、そして新しい担任の先生と対面して歓喜に沸く五十八期生の姿を見て、元気をもらった感じがします。ありがとう。二高生の姿を見ると、樂觀ですが、新型コロナウイルスをはじめとするさまざまな課題を克服する人間の知恵と強い生命力を感じます。

さて、一年生の最後の学年集会で話したように、人類はかつてない『脅威』にさらされています。治療薬やワクチンが急ピッチで研究開発されるなど、人類の知恵を集結させてこの難題を解決しようとしています。まさに人類が獲得した『知能』によるものです。『知能』とは、過去の『経験』に基づいて目的にあった適切な手段を選択し、未経験の事態に対応する行動のことです。高校二年では、多様化する問題を解決するための『知能』を得るために、学習をはじめ、さまざまな活動に挑戦し、多くの『経験』をしてほしいと思っています。

ところで、挑戦には失敗がつきものです。失敗には次の三つがあります。

1 予測される失敗。ある程度の損失やデメリットは承知の上での失敗。果敢なチャレンジの結果としての失敗。回避可能である失敗。ヒューマンエラーの失敗。

トは承知の上での失敗。結果としての失敗。果敢なチャレンジの結果としての失敗。回避可能である失敗。ヒューマンエラーの失敗。

1と2の失敗は、「失敗は成功の元である」と言える失敗で、状況や結果がある程度予測可能であり、経験に基づいた確かな判断や思考によって対応できます。一方、3の失敗は、更なる悪循環が生じる失敗です。予測しておけば回避可能であったにも関わらず、予測していなかったために一層、状況の悪化を招く可能性があり、失敗の経験から学ぶことは多く、得られた『知能』によって未経験の事態に対応したり、回避したりすることができるようになります。

高校二年とはいえ、六月にもなると部活動や生徒会活動など、学校の中心を担う存在となります。三年への準備期間として、失敗を恐れず、何事にも挑戦し、多くの『経験』をしてください。挑戦(Challenge)は、五十八期生のスローガンの一つでもあります。

最後に、五十七期の三年生へ、休校のため授業が実施できない中、運動会の中止、高校総体・総文祭の開催の有無など、先が見えない多くの不安があると思います。困難な状況でも、力強く目標に向かって前に進む二年生の姿は、後輩に勇気を与えてくれます。二年生の代表としてエールを送ります。

『玲瓏』3年生の君たちへ

三学年主任 徳永豪男

五十七期生のみなさん、三年生の0学期は「受験へ起動せよ。五十七期生」と三年生の自覚を促しました。例年に比べれば暖かい冬を迎え、梅の開花の早かった三二日はから母校となり、そのまま二十三日に終業式を行います。三週間後には桜が満開になり、三年生一学期というスタートも短縮始業式と休校延長に、桜の花の色褪せて見えました。五十七期生にとってのスタートがこのような形となったことが残念ですが、前を向いて踏み出すしかありません。今回の新型コロナウイルスについて気がついたことがありません。一点目は、緊急事態における国の政治判断

断です。今回の緊急事態宣言や休校措置について政治判断が大きく影響していることは皆さんも感じていることと思います。これを機に政治に関心を持った生徒も多いのではないのでしょうか。平成二十七年に選挙権が十八歳に引き下げられ、皆さんは、それぞれに選挙権を持つようになります。問題を解決するために政治のあり方が重要であり、日本の未来に大きく関係します。将来、君たちの中から国や自治体の長が誕生し、活躍することもあると期待しています。二点目はエドテック(EdTech)です。教育(Education)とテクノロジー(Technology)を組み合わせた造語で、IT技術等を教育分野に活かす取組全般を指します。本校でも実際にO&Bを活用した連絡事項や学習支援、美術科では、完成した鉛筆デッサンや水彩画を投稿し先生方から講評コメントをやりとりすることができました。他にも、学習動画や教材画像などエドテックが発展し、多く活用されるようになりました。思い起こせば、君たちが一年生の時、一学期終業式で山本朝昭校長はミネルバ大学について話をされました。ミネルバ大学は固有のキャンパスを持たず、講義を全てオンラインで行い、双方方向通信を利用した学生同士のディスカッションを行います。新たな教育の概念を創り出した大学です。刺激を受けた国内の大学も整備が進み、現在、オンライン授業を行っている大学も多数あります。この休校期間が、エドテックをさらに進化させ学習の「データ化」、「可視化」、「効率化」が導入されていくでしょう。

大変厳しい状況で始まった三年生ですが、世界が見えない敵と戦っている時だからこそ、一人一人がどのような行動をとるべきか、よく考えて行動することが求められます。当たり前であった時間のありがたさに気づけば、制限のある今をどう過ごすかに意識を向ければ、君たちのなすべきことは見えてきます。そして、来年の春には一人一人に満開の桜が咲くことを願っています。気づいた人から行動しましょう。玲瓏たれ五十七期生。

* 出典「エドテック テクノロジーで教育が変わり、人類は『進化』する」幻冬舎二〇一九年 山田浩司著

令和2年度 総合的な探究の時間について

本校では、総合的な探究の時間をSSH研究指定4期と連動して、普通科GR (Global Research)、美術科AS (Art Science) として活動しています。

1、2年では、「進路研究」「小論文」「テーマ研究」の三つの柱で構成された研究を主とする活動1単位と、教科「情報」の内容1単位の、合わせて2単位で行います。GR、ASの全体の活動を通して、主体的・創造的に取り組み、自らの生き方や在り方を考えることを目標にしています。「進路研究」は自らの適性を見極め、多様な学問分野を調査します。「小論文」学習は情報収集力、

思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を身につけます。「テーマ研究」はそれぞれが独自に課題を設定し、科学的に探究する能力の基礎を身につけます。これらの活動に加えて、情報領域では問題解決、データ処理、ICTを活用したプレゼンテーション能力の活用を重点的に学習します。さらに、テーマ研究のより一層の充実と、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指します。3年では、グローバルな視点から、英語と取り入れた研究を計画しています。

今年度は下記のように行う予定です。

◇令和2年度 GR (水⑦限) 年間計画 (予定)◇

GR情報は別途計画

Table with columns for Year (1年, 2年, 3年), Day (月日), and ALT. Rows include activities like '始業式', 'グループワーク演習', '進路研究', '小論文', and 'クラスマッチ'.

Table with 2 columns: '学習内容' (Learning Content) and '指導者の役割' (Role of the Instructor). It details the goals and methods for the research activities.

備考 ※学年ごとの計画の変更に関しては学年会で連絡、共有します。 ※発表会や講演会などは文書等で連絡します。

大学入試小論文について

進路指導部 中田輝保

左ページは、昨年度の九州大学共創学部の前日程小論文で出題されたものの一部です。設問は大問二題です。

設問1は世界遺産に関するものでした。問1では世界遺産に関する課題や問題点を資料1〜11に基づいて整理して述べることが要求されています。問2では問1で記述したことをもとに、実現可能で最も効果的な解決方法を述べることを要求されています。また、設問2では日本での自然災害に関する出題でした。発生状況やインフラとの関係性に関する資料が七つ示されています。

設問1の「実現可能で最も効果的な解決方法」という文言から「SDGs」「グローバル化」等にも思いが及んだ人も多いかと思えます。設問2も最近話題になってきている事柄がテーマになっています。

皆さんも知っているかと思いますが、最近の小論文入試では、自分の意見や感想を述べるだけのものは少なくなっています。課題文の分析や読解だけではなく、併せて示されている資料との相関関係を読み取ったりすることも要求されています。

大学でも学び続けていけるように、きみたちにもぜひ「発想力」「表現力」を限られた時間内で存分に発揮できるように頑張ってほしいと思います。

ちなみに例として挙げている九州大学共創学部の試験時間は一八〇分です。

1 小論文って何？

小論文試験は、一般入試・推薦入試・AO入試などで課されます。教科試験とは異なる視点で、すなわち読解力、発想力、論理的思考力、表現力といったものが総合的に試される試験です。これらの土台になるのは、他の誰でもないあなた自身です。自分の経験や、志望している学問に対する知識や興味関心の高さ、また各教科の知識、社会の出来事に対する関心の度合いやそれに伴う知識等の全てが、小論文を書くための「材料」になるのです。

2 本校での取組

小論文は受験勉強の一つとして三年生で取り組むものと思っている人も多いようですが、本校では一・二年次からGR、AS（総合的な探究の時間）で小論文について基本的な事柄は学習しています。また、日々の朝読書でも読解力を身につけています。本校での日々の取組の一つひとつが、書く力や考える力の伸長につながっているといえるのです。

「受験は合否を越えた財産である」と昨年度末の進路だよりにも書いてあったとおり、このような思考のトレーニングをとおして得られるものは、受験に必要と必要でないとかいう二者択一で単純に仕分けられるものではありません。

栄冠をつかむための方策として、「書く習慣をつける」こと、「情報収集力」の二点を日頃から意識して

「と前述したように、いわゆるハウツーや一問一答形式の学習で対応していくものではなく、各科目の学習を踏まえた総合的な観点から、たとえば「学問分野が成り立っている様子系統的にかつ立体的に把握できていること」とや「一つの出来事について複眼的に捉えることができる能力」等が問われます。

「受験は合否を越えた財産である」と昨年度末の進路だよりにも書いてあったとおり、このような思考のトレーニングをとおして得られるものは、受験に必要と必要でないとかいう二者択一で単純に仕分けられるものではありません。

3学年 小論文講座・添削指導・模試の流れ（令和元年度〈2019年度〉）

期日	講座	タイトル	担当	教科所属	
夏期	7月19日	ガイダンス	小論文講座・添削指導希望者集会・小論文講座受講届・添削指導願いの提出	大塚	国語
	8月24日	小論文模試①（全員受験）学研			
秋期	10月5日	小論文模試②（希望者受験）第一学習社			
センター試験後	1月21日	小論文模試③（希望者受験）学研			
	1月21日	ガイダンス	小論文を書く前に（この時期にやっておくべきこと）	堂前・平木	数学・理科
	1月28日		小論文講座・添削指導希望者集会		
	1月29日		「小論文講座受講届・添削指導願い」の提出		
	2月5日	講座1	異文化理解・グローバル化	米本	地歴
	2月7日	講座2	科学技術	高崎	理科
	2月10日	講座3	教育	今村	公民
	2月12日	講座4	食育	田尻	家庭
	2月13日	講座5	生活・社会（LGBT、家族、コミュニティなど人間社会における課題）	大塚	国語
	2月17日	講座6	防災・減災について	西	地歴
	2月21日	直前指導		高濱・堂前	
	2月27日	講座7	SDGs（持続可能な開発目標）	門川	地歴
	3月2日	特別講座	小論文対策特別講座「最後の小論文対策2020」	大堀精一先生（学研）	外部講師
3月5日	直前指導	中・後期日程直前指導	高濱	国語	

みてはどうでしょうか。様々な場面でのふとした疑問を、関連する知識の獲得へ、そして学問の体系の理解にまで繋げていこうと試行錯誤することを恐れずに継続していくことが小論文上達のコツと言えるのではないのでしょうか。

2020年度九州大学共創学部（前期）～抜粋～

【設問 1】

世界遺産に関する資料 1～11 を参考にし、以下の問いに答えなさい。

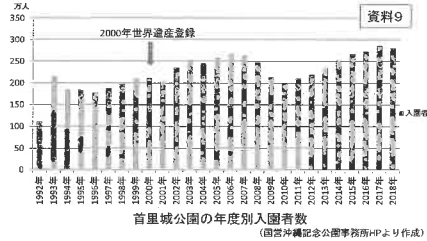
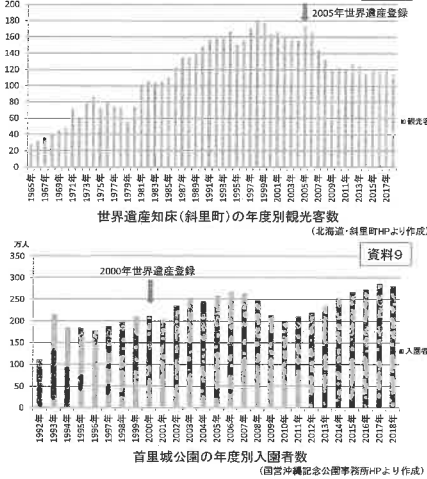
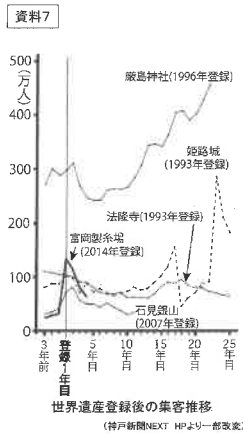
問 1 [50 点]

世界遺産に関する課題や問題点を、資料に基づき整理し記述しなさい。

問 2 [100 点]

問 1 で記述した世界遺産をめぐる課題や問題点に関して、実現可能で最も効果的な解決方法をあなた独自の考え方で提案しなさい。

観光客の推移に関する各種データ



資料1

世界遺産の定義

世界遺産とは、地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物で、現在を生きている世界中の人間が過去から継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産です。世界遺産は、1972年の第17回UNESCO総会で採択された世界遺産条約(正式には「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」)の中で定義されています。2019年7月現在、世界遺産は1121件(文化遺産889件、自然遺産213件、複合遺産39件)、条約締約国は193カ国です。(日本ユネスコ協会連盟HPより一部改変)

【設問 1 資料】

資料2

世界遺産の登録基準

世界遺産リストに登録されるためには、「世界遺産条約履行のための作業指針」で示されている下記の登録基準のいずれか1つ以上に合致するとともに、真実性(オーセンティシティ)や完全性(インテグリティ)の条件を満たし、締約国の国内法によって、適切な保護管理がなされていることが必要です。

- 人間の創造的才能を表す傑作である。
- 建築、科学技術、記念碑、都市計画、景観設計の発展に重要な影響を与え、ある期間にわたる価値観の交流又はある文化圏での価値観の交流を示すものである。
- 顕著かつ普遍的に認められるかかわらざる、ある文化的伝統又は文明の存在を伝承する物語として傑出した存在(少なくとも希有な存在)である。
- 歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、科学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本である。
- あるひとつの文化(または複数の文化)を特徴づけるような伝統的居住形態もしくは陸上・海上の土地利用形態を代表する顕著な見本である。又は、人類と環境とのかけがえのない見本である(特に不可逆的な変化によりその存続が危ぶまれているもの)。
- 顕著な自然的価値を有する出来事(行挙)、生きと残る、思想、信仰、芸術的作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連がある(この基準は他の基準とあわせて用いられることが望ましい)。
- 原上級の自然景観、又は、希少な自然美・美的価値を有する地域を指す。
- 生命進化の記録や、地形形成における重要な進行中の地質学的過程、あるいは重要な地形的又は自然地理学的特徴として、地球の歴史の主要な段階を代表する顕著な見本である。
- 陸上・淡水域・沿岸・海洋の生態系や動植物群集の進化、発展において、重要な進行中の生態学的過程又は生物学的過程を代表する顕著な見本である。
- 地球上又は地球上に顕著な普遍的価値を有する絶滅のおそれのある種の生息地など、生物多様性の生息域内保全にわたって最も重要な自然の生息地を指す。

※なお、世界遺産の登録基準は、2005年2月1日まで文化遺産と自然遺産についてそれぞれ定められていましたが、同年2月2日から上記のとおり文化遺産と自然遺産が統合された新しい登録基準に変更されました。文化遺産、自然遺産、複合遺産の区分については、上記基準1～6で登録された物件は文化遺産、7～10で登録された物件は自然遺産、文化遺産と自然遺産の両方の基準に登録されたものは複合遺産とします。(日本ユネスコ協会連盟HPより一部改変)

資料10

主な世界遺産の観光客の推移に関するデータ

	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年
自神山地	2,433	2,351	2,792	2,901	3,081	3,289	3,241	3,823	3,667	3,591	4,058	3,599	—
日光の社寺	27	86	100	104	110	118	121	131	121	125	141	143	—
白川郷・五箇山の合掌造り集落	113	101	92	87	81	79	75	71	100	76	71	70	70
厳島神社	1,337	1,174	1,296	1,388	1,820	1,942	1,815	1,812	2,045	2,226	2,296	2,283	2,180
法隆寺	70	81	65	72	100	101	80	84	101	118	123	118	113
新島元和記念公園(原嶋ドーム)	1,415	1,369	1,411	1,321	1,364	1,385	1,252	1,181	1,097	1,114	1,148	1,103	1,065
飯島神社	1,052	1,010	1,010	1,112	1,104	1,100	801	801	771	801	62	78	77
鹿島	1,452	1,515	1,693	1,588	1,668	1,601	1,549	1,375	1,327	1,329	1,387	1,402	1,281
原久島	76	80	89	81	89	100	81	71	70	71	73	74	68
琉球王国のグスク及び関連遺跡群	292	298	229	257	255	264	280	293	268	266	290	315	—
上院は隔年および年度ベースの観光客数(千人)。下院は、世界遺産登録の翌年の観光客数を100とした指数、ブルーが世界遺産登録年。(「地域の経済 2005 - 高付加価値化を模索する地域経済 -」2005年10月内閣府政策統括官室(経済財政分析担当)より一部改変)	1,114	1,148	1,841	1,852	1,771	1,887	1,874	2,096	2,111	2,035	2,362	2,513	2,454
	55	106	90	91	87	92	97	103	100	100	118	123	121

資料11

登録が解除された世界遺産

- アラビヤオリーブスの保護地区(オマーン国) 1994年登録
オマーン政府が天然資源採取のため保護地区の面積を10%に縮小したため、2007年に世界遺産リストより削除された。
- ドレスデン・エルベ渓谷(ドイツ連邦共和国) 2004年登録
エルベ川に近代的な橋を建設することが住民投票や議会で決定し、実際に建設されたため、2009年に世界遺産リストより削除された。

【設問 2】

日本における自然災害(主に豪雨と地震による土砂災害)の発生状況(資料1～6)および災害外力(たとえば、豪雨や地震などの外的要因)がインフラの脆弱性に与える影響に関する概念図(資料7)を参考にし、以下の問いに答えなさい。

問 1 [100 点]

2つ以上の災害が同時あるいは順次に発生し、被害が拡大することを複合災害という。複合災害の典型的な例として次の3つの災害事例が挙げられる:(1)2016年4月に発生した熊本地震により脆弱になった斜面が同年6月の大雨で崩壊し、人的被害をもたらした。

(2)2018年9月の台風21号の大雨で地盤が緩くなり、その2日後に北海道東部胆振地震が発生して、大規模な土砂災害が引き起こされた。(3)2011年3月に発生した東北地方太平洋沖地震時の地震動と津波により、東京電力の福島第一原子力発電所で起こった炉心溶融(メルトダウン)など、一連の放射性物質の放出を伴った原子力事故が起きた。

一方、近年、気候変動に伴う災害(たとえば、集中豪雨による土砂災害)が頻繁に発生している。世界有数の地震国である日本は、地震による地盤の災害が多い。特に、大雨や大地震に伴う土砂災害が多く見られる。これらの災害によるインフラおよび市民生活への影響は極めて甚大で、注目度が高い。

上記をふまえ、資料1～6の内容を分析して、これらの資料から読み取れる傾向を挙げなさい。また、日本における複合災害の危険性について論じなさい。

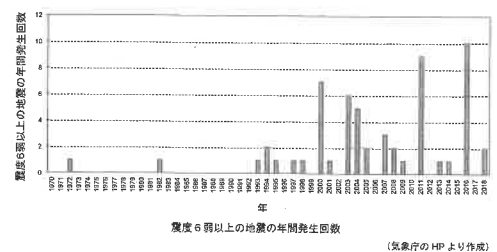
問 2 [50 点]

地球温暖化などによる気候変動に伴う災害外力の1つとして集中豪雨が挙げられる。資料7は、災害外力(E)が将来増加する傾向にある一方、高度成長期に建設された日本のインフラが経年劣化し、防災力(R)が年々弱まっていることを示している。この資料から、気候変動の緩和策の効果(M)により災害外力を低下させ、適応策の効果(A)を向上させれば、インフラの脆弱性(V)を減少させられることが分かる。これらの関係は以下の式で表現できる。

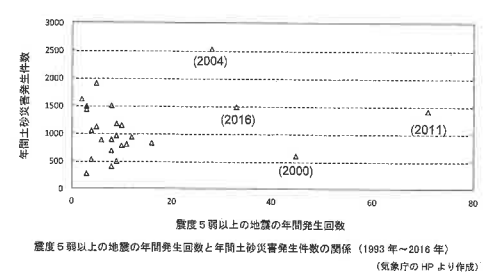
$$V = E - (M + A) - R$$

資料7および上記の式を参考にし、日本のインフラの脆弱性を防止する方法についてあなたの考えを述べなさい。

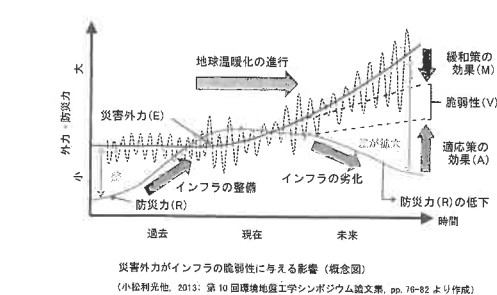
資料3



資料4



資料7



令和2年度 進路指導部年間計画表(4/7版)

月	学校行事等(予定)	重点目標等			課外・テスト関係			その他	
		3年	2年	1年	3年	2年	1年		
4	1学期始業式 8 入学式 8 PTA総会 25	◎志望校と学習課題の設定 ・第1回検討会に向けた二者面談(進路目標の確認) ・志望校の明確化(難易度及び二次科目・配点等の確認、6月MSでの各教科の目標設定。) ・各教科の学力と学習課題の把握(具体的方法の確認。) →進路目標を意識した取組ができていくか。 ・難関大志望者への個別指導	◎進路目標について考える。 ・進路情報の収集と自己の現状の把握(「合格ライン」・「スタサポ」の活用。) (難関大志望者の把握。) ◎生活習慣と学習習慣の見直し ・部活動と学習の両立(「生活の記録」を利用して時間の使い方を改善する。平日180分の確保。) ・面談期間の活用(進路希望、生活リズム、学習状況、部活動の状況について確認する。) ↓ ・三者面談(課題点と具体的な取組について確認する。)	◎高校生としての生活習慣と学習習慣の確立 ・生活の3点(起床・学習開始・就寝)固定(スマホ利用のルール設定) ・学習の黄金サイクルを意識した学習(「生活の記録」を利用して、高校生としての時間の使い方を身につける。平日150分の確保。) ・早期学習への積極的な参加(「早期学習に関するガイドライン」の徹底) ・面談期間の活用(うまくスタートが切れたか。) ↓ ・家庭訪問の実施 ・希望進路と自己の適性から文理コース分けについて考える。(将来の進路希望を見据え、文理・選択科目を慎重に考える。)	課題考査9・10 進研記述模試20 【3学年目標】 ◎第一志望の合格者平均得点と偏差値を目標とする。	課題考査 9・10 【2学年目標】 ◎GTZ・A3、模試得点45点以上。 【難関大志望者目標】 ◎GTZ・A1、模試得点60点以上。	新入生テスト10 ｽﾀｲｲﾝｸﾞｰﾄ 9 【1学年目標】 ◎GTZ・A3、模試得点45点以上。 【難関大志望者目標】 ◎GTZ・A1、模試得点60点以上。		
5	朝読書開始 運動会 9 新体力テスト 1学期中間考査 14・15	◎学習スタイルの確立 ・週30時間以上の宅習 ・模試の結果を踏まえた志望校の確認(9月MS、11月MS、センター試験における目標点の設定。) ・苦手教科克服への取組(具体的分野・方法の確認。) ・進路研究及び推薦利用の検討(学部・学科名だけでなく、研究内容まで調べる。) ・「進路のてびき」の活用 ・週末の教室開放	◎オープンキャンパスに参加する。 (校外での体験授業や実習等への積極的な参加 → 年間を通して。)	◎オープンキャンパス、インターンシップに参加する。 (校外での体験授業や実習等への積極的な参加 → 年間を通して。)	進研MS 6~7 朝・夕課外開始	駿台模試①		3年課外開始 3~ 3年進路講演会 宅習時間調査① 3年カス別進路説明会 19	
6	高校総文祭 5/28~ 高校総体 5/29~6/1 1学期期末考査 25~30	◎志望校を意識した学習 ・センター試験出願準備 → 出願 ・記述問題への継続的取組 ・模試の復習を徹底する(やり直しノートの作成、質問。) ・推薦入試(国立・私立)の準備(該当生徒)	◎進路目標を明確にする。 ・高校生活後半のスタート。自己の目標を明確に設定する。 (志望する分野、求められる取組、適性・能力の確認。) ↓ (目標達成に向けた「具体的な行動」を起こす。)	◎生活習慣、学習習慣の再確認 ・部活動と学習の両立(時間の使い方を意識する。) ・睡眠6時間の確保(スマホ利用のルール確認。)	全統MS 8・9 小論文模試① 22 夏期課外 1~7 19~21 校内実力考査 26・27	進研記述 4~5 夏期課外21~31	進研記述 4~5 夏期課外 19~21 課題考査26・27	夏期課外 19~21 課題考査26・27	3年課外開始 3~ 3年進路講演会 宅習時間調査① 3年カス別進路説明会 19
7	クラスマッチ 7 1学期終業式 20 夏季休業 21~ 夏期二高美術ゼミ ~8/7 中学生対象 学校説明会 31	◎志望校・システムの再確認 ・第2回検討会に向けた二者面談 ・11月マーク模試の結果を受けた志望校及び学習方針の再確認	◎進路目標を意識した学習への取組を進める。 (赤本に触れる。)(各自の重点教科の確認。難関大志望者を対象とした個別指導。)	◎進路希望の検討と身につく学習の取組 ・文理コース分けに向けた二者面談(分からないところはなにか。) (進路希望、適性等の確認。) → 9月仮調査 11月本調査	進研記述 4~5 夏期課外21~31	進研記述 4~5 夏期課外 19~21 課題考査26・27	進研記述 4~5 夏期課外21~3	第1回進路検討会 8~10	2年学部学科説明会 11 3者面談(家庭訪問)
8	2学期始業式 26	◎志望校を意識した学習 ・センター試験出願準備 → 出願 ・記述問題への継続的取組 ・模試の復習を徹底する(やり直しノートの作成、質問。) ・推薦入試(国立・私立)の準備(該当生徒)	◎進路目標を明確にする。 ・高校生活後半のスタート。自己の目標を明確に設定する。 (志望する分野、求められる取組、適性・能力の確認。) ↓ (目標達成に向けた「具体的な行動」を起こす。)	◎生活習慣、学習習慣の再確認 ・部活動と学習の両立(時間の使い方を意識する。) ・睡眠6時間の確保(スマホ利用のルール確認。)	全統MS 8・9 小論文模試① 22 夏期課外 1~7 19~21 校内実力考査 26・27	進研記述 4~5 夏期課外21~31	進研記述 4~5 夏期課外 19~21 課題考査26・27	夏期課外 19~21 課題考査26・27	1年インターンシップ 2年学力検討会① 美術科 外部講師講演会
9	文化祭 11・12 2学期中間考査 29~10/2	◎志望校を意識した学習 ・センター試験出願準備 → 出願 ・記述問題への継続的取組 ・模試の復習を徹底する(やり直しノートの作成、質問。) ・推薦入試(国立・私立)の準備(該当生徒)	◎進路目標を明確にする。 ・高校生活後半のスタート。自己の目標を明確に設定する。 (志望する分野、求められる取組、適性・能力の確認。) ↓ (目標達成に向けた「具体的な行動」を起こす。)	◎生活習慣、学習習慣の再確認 ・部活動と学習の両立(時間の使い方を意識する。) ・睡眠6時間の確保(スマホ利用のルール確認。)	全統記述模試 5・6 美術科実技模試① 5・6 進連協MS模試19・20	進研記述 4~5 夏期課外21~31	進研記述 4~5 夏期課外 19~21 課題考査26・27	夏期課外 19~21 課題考査26・27	1年進路ガイダンス 5
10	美術科制作展 創立記念日 13 強歩会 16	◎志望校・システムの再確認 ・第2回検討会に向けた二者面談 ・11月マーク模試の結果を受けた志望校及び学習方針の再確認	◎進路目標を明確にする。 ・高校生活後半のスタート。自己の目標を明確に設定する。 (志望する分野、求められる取組、適性・能力の確認。) ↓ (目標達成に向けた「具体的な行動」を起こす。)	◎進路希望の検討と身につく学習の取組 ・文理コース分けに向けた二者面談(分からないところはなにか。) (進路希望、適性等の確認。) → 9月仮調査 11月本調査	小論文模試② 3 進研記述 10・11 美術科模試② 17 全統記述 24・25 美術科模試③ 24 進研MS 31~1	駿台模試②	Mレベル模試①	大学共通テスト出願 2年進路講演会 ・保護者会 国公立・私立推薦 (センター前出願分 11月まで)	
11	2学期期末考査 26~12/1	◎志望校を意識した学習 ・センター試験出願準備 → 出願 ・記述問題への継続的取組 ・模試の復習を徹底する(やり直しノートの作成、質問。) ・推薦入試(国立・私立)の準備(該当生徒)	◎進路目標を明確にする。 ・高校生活後半のスタート。自己の目標を明確に設定する。 (志望する分野、求められる取組、適性・能力の確認。) ↓ (目標達成に向けた「具体的な行動」を起こす。)	◎生活習慣、学習習慣の再確認 ・部活動と学習の両立(時間の使い方を意識する。) ・睡眠6時間の確保(スマホ利用のルール確認。)	各種オープン模試 大学共通テスト① 21・22	進研記述 (5教科) 31~1	進研記述 31	宅習時間調査②	
12	クラスマッチ 8 修学旅行(1年) 15~18 2学期終業式 24 冬季休業 25~	◎出願パターンへの検討 ・センター試験の得点を想定した出願校の設定(中・後期試験及び私立大学含む。) ・願書の取り寄せ ・現役生が最も伸びる時期	◎進路目標を明確にする。 ・高校生活後半のスタート。自己の目標を明確に設定する。 (志望する分野、求められる取組、適性・能力の確認。) ↓ (目標達成に向けた「具体的な行動」を起こす。)	◎進路希望の検討と身につく学習の取組 ・文理コース分けに向けた二者面談(分からないところはなにか。) (進路希望、適性等の確認。) → 9月仮調査 11月本調査	大学共通テスト② 5・6 大学共通テスト③ 29・30 冬期課外 251・28	駿台模試②	Mレベル模試①	大学共通テスト出願 2年進路講演会 ・保護者会 国公立・私立推薦 (センター前出願分 11月まで)	
1	3学期始業式 8	◎センター試験への万全の準備 ・出願パターンを確認し、状況に対応できる準備を行う。 ◎出願校の決定 ・大学で学びたいこと、それぞれ二次力と合格可能性を総合的に勘案し、出願先を決定する。(最後まで本気で勉強に取り組み始める受験先を設定する。) ◎解答作成力の育成 ・出願後の二者面談の実施 ・問題を解き、解説を聞いて、添削を受ける。 ◎最後まで全力で学ぶ (朝課外・特別時間割に全員で参加し、最後まで全力を尽くす。)	◎3年生の姿に学ぶ ・合格体験談を聞き、自己の生活と学習の改善に向けた行動を起こす。(進路目標を意識した学習に取り組むことができるか。)	◎入試制度について学ぶ ・センター試験と個別試験の仕組みを知る。	大学共通テスト④ 9・10 小論文模試③ 19	校内実力考査 8・12 進研記述模試 (5教科) 16・17 駿台模試③ 23	校内実力考査 8・12 進研記述模試 16 Mレベル模試② 25	大学共通テスト 16・17 進路判定会 22・23 宅習時間調査③	
2	学年末考査 12~17	◎センター試験への万全の準備 ・出願パターンを確認し、状況に対応できる準備を行う。 ◎出願校の決定 ・大学で学びたいこと、それぞれ二次力と合格可能性を総合的に勘案し、出願先を決定する。(最後まで本気で勉強に取り組み始める受験先を設定する。) ◎解答作成力の育成 ・出願後の二者面談の実施 ・問題を解き、解説を聞いて、添削を受ける。 ◎最後まで全力で学ぶ (朝課外・特別時間割に全員で参加し、最後まで全力を尽くす。)	◎1年間の学習内容の定着を図る ・苦手科目を弱点分野に分解し、復習に取り組む。(授業における振り返り、復習のための課題)	◎1年間の学習内容の定着を図る ・苦手科目を弱点分野に分解し、復習に取り組む。(授業における振り返り、復習のための課題)	国公立大前期試験 25~26	進研MS(5教科) 6・7		1年学力検討会 2年学力検討会②	
3	卒業式 1 クラスマッチ 17 3学期終業式 24 転退任式 26	◎センター試験への万全の準備 ・出願パターンを確認し、状況に対応できる準備を行う。 ◎出願校の決定 ・大学で学びたいこと、それぞれ二次力と合格可能性を総合的に勘案し、出願先を決定する。(最後まで本気で勉強に取り組み始める受験先を設定する。) ◎解答作成力の育成 ・出願後の二者面談の実施 ・問題を解き、解説を聞いて、添削を受ける。 ◎最後まで全力で学ぶ (朝課外・特別時間割に全員で参加し、最後まで全力を尽くす。)	◎3年生の姿に学ぶ ・合格体験談を聞き、自己の生活と学習の改善に向けた行動を起こす。(進路目標を意識した学習に取り組むことができるか。)	◎入試制度について学ぶ ・センター試験と個別試験の仕組みを知る。	公立大中期試験 8 国公立大後期試験 12~13	駿台模試③ 23	ｽﾀｲｲﾝｸﾞｰﾄ 3年第1回 12	ｽﾀｲｲﾝｸﾞｰﾄ 2年第1回 12	3年小論文講座